

あきやま ゆうとくたいし ことぶき
秋山祐徳太子+しりあがり寿 ブリキの方舟
 2011年10月29日(土)～2012年1月9日(月・祝)

**前衛芸術の先駆者として走り続けた、秋山祐徳太子
 話題作を次々発表する売れっ子マンガ家、しりあがり寿**

秋山祐徳太子(1935年～)は1960年代以降、「ダリコ」をはじめ、ポップ・ハプニングと称するパフォーマンスを展開、とくに1975年、79年の東京都知事選出馬はひろく知られ、選挙ポスターが作品として全国の美術館に収蔵されています。一方で、男爵や仏像をかたどったブリキによる彫刻作品を継続的に制作してきました。近年もエッセイの出版、ブリキ彫刻の新作を発表するなど、旺盛な活動を続けています。

しりあがり寿(1958年～)は多摩美術大学卒業後、大手ビールメーカーにて、パッケージデザイン、広告宣伝等を担当し、1985年に『エレキな春』でマンガ家としてデビューをはたします。パロディーを中心にした新しいタイプのギャグマンガ家として注目を集め、1994年独立後は、不条理で終末的な世界を描いた作品など次々に発表、マンガ家として独自の活動を続ける一方、近年ではエッセイ、映像、アートなど多方面に創作の幅を広げています。

**これまでに接点のなかった二人の共同展覧会！
 ジャンルも世代も超えたコラボレーションが奇跡を起こす！？**

本展覧会では、秋山祐徳太子による初期から現在までのブリキ彫刻、ブリキ絵画、ハプニングの数々、しりあがり寿による墨絵ドローイング・インスタレーションに、ゆるめ～しょん、しりあがり寿歴史資料館など、両者のこれまでの歩みを一挙にお楽しみいただけます。

それに加え、両者のコラボレーションによって構成される展示空間「ブリキの方舟」では、新旧の作品を組み合わせ、この二人でこそ可能な鎮魂と救済のかたちを提示します。しりあがり寿は、東日本大震災での津波をモチーフにした新作を含む複数の「ゆるめ～しょん」を、そして秋山は津波で押し流された六角堂(茨城県・五浦海岸)をモチーフにした《瞑想のオブジェ》ほか、喪失と祈りにまつわるブリキ彫刻を展示します。それは、震災後のこの国が直面する困難な状況に対して、アーティストとして取り得る態度の表明であり、ユーモアとパロディーをもって社会に向き合ってきた両作家が描く救済のかたちと言えるでしょう。

開催概要

- | | |
|--------|---|
| 【会期】 | 2011年10月29日(土)～2012年1月9日(月・祝) |
| 【開館時間】 | 午前10時-午後5時 ※入場は閉館30分前まで
※11月3日(木・祝)は午後7時まで開館延長 |
| 【休館日】 | 月曜日
※ただし年末年始は、12月27日～1月1日・4日は休館し、1月2日・3日・9日は開館します。 |
| 【観覧料】 | 一般1,000(800)円、大学生700(600)円、高校生500(400)円
※()内は前売りおよび30人以上の団体料金 |
| 【主催】 | 広島市現代美術館、中国新聞社 |



秋山祐徳太子《瞑想のオブジェ》1999
 しりあがり寿《オヤジ》2011



しりあがり寿
 《オレの王国、こんなにデカイよ》
 横浜美術館での展示風景 2006
 撮影：菅谷守良 提供：横浜美術館



秋山祐徳太子
 《牛と男》2007

作家略歴

秋山祐徳太子（あきやま・ゆうとくたいし）

1935年東京生まれ。武蔵野美術大学彫刻科卒業。大手電機メーカーに勤務後、前衛芸術家に転身。60年代よりポップ・ハプニングと称するパフォーマンスを展開し、政治をポップ・アート化するとして75年、79年の2度にわたり東京都知事選挙へ出馬。ブリキによる彫刻の発表や、赤瀬川原平・高梨豊と結成した「ライカ同盟」の写真家活動など、幅広い芸術活動を繰り広げる。

【主な展覧会】

1994年 「秋山祐徳太子の世界展」（池田20世紀美術館、静岡）

【おもな著書】



『聴の美学』（2009年）



『ブリキ男』（2007年）



『通俗的芸術論』
(1985年)



秋山祐徳太子
Courtesy of Yutokutaishi Akiyama

しりあがり寿（しりあがり・ことぶき）

1958年静岡生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業。大手ビールメーカーで勤務後、漫画家に転身。パロディーを中心にした新しいタイプのギャグマンガ家として注目を浴びる。90年代以降、幻想的あるいは文学的な作品などを次々に発表し、マンガ家として独自の活動を続ける一方、近年は映像、アートなど多方面に創作の幅を広げている。

【主な展覧会】

2006年 「日本×画展」（横浜美術館）

2007年 「オヤジの世界」（広島市現代美術館）

【代表作品】



『あの日からのマンガ』
(2011年)



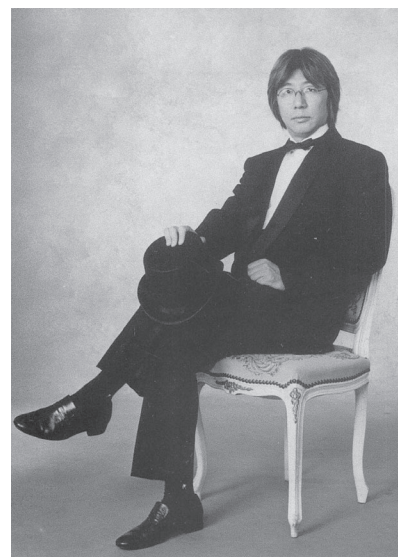
『地球防衛家のヒトビト』
(2004年)



『方舟』（2000年）



『弥次喜多 in DEEP』
(1998年)



しりあがり寿
© Kotobuki Shiriagari

広島市現代美術館（学芸担当：松岡 広報担当：後藤、鈴木）

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1

TEL/ 082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(学芸直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

アーティスト対談からワークショップまで
展覧会をもっと楽しむための関連イベント

秋山祐徳太子+しりあがり寿 アーティスト対談

両作家が展覧会までの道のりや、そこに込めた思いなどを語り、笑いとお批評精神に満ちた対話を繰り広げます。

10月30日(日) 14:00～15:30

会場/ミュージアムスタジオ

※参加無料、申込不要

しりあがり映画祭

しりあがり寿の映像作品を一挙上映します。

11月3日(木・祝) 開館時間中

会場/ミュージアムスタジオ

※参加無料、申込不要、開館時間中繰り返し上映します。

新・オヤジの小言会議

湯飲みや手ぬぐいでおなじみの「オヤジの小言」。しりあがり寿座長とともに意見を交わし、最新版を編纂します。

11月23日(水・祝) 14:00～16:00

座長: しりあがり寿/対象: 20才以上

定員: 20名/応募方法: 住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、メールまたは往復はがきで「新・オヤジの小言」係までご応募ください。応募者多数の場合は抽選。会議は公開で行います。

締切: 11月11日(金) 必着



しりあがり寿《おやじの小言》
© Kotobuki Shiragari

こどもワークショップ 選挙ポスターをつくろう!

選挙をアートにした秋山さんの話をきいて、みんなの選挙ポスターを作ってみよう。

12月17日(土) 14:00～16:00

講師: 秋山祐徳太子/対象: 小学生

3年生以上/定員: 20名/応募方法: 住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、メールまたは往復はがきで「こどもワークショップ」係までご応募ください。1通につき2名まで応募可。応募者多数の場合は抽選。

締切: 12月9日(金) 必着



秋山祐徳太子(東京都知事選立候補ポスター)
1979年 ©Yutokutaishi Akiyama

恥の小品評会

皆さんから寄せられた恥のエピソードを前に、「恥のソムリエ」秋山祐徳太子が品評会を行います。

12月18日(日) 14:00～15:00

<恥のエピソード大募集!>

館内の特設会場で直接ご応募いただくか、郵送にてご応募ください。(メールでは受け付けておりません) 郵送の場合: 郵便はがきにて、エピソードを明記の上、「恥のエピソード」係までご応募ください。*お送りいただいたハガキは館内に展示し、返却はいたしません。締切: 12月16日(金) 必着

※各応募方法の詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。

【同時開催】

● コレクション展 2011- II

アート・トライアングル・ひろしま連携企画「つくる、ゆく、ヒロシマに想う」

※同時開催: 岡本太郎《明日の神話》原画特別展示
～2011年11月6日(日)

● コレクション展 2011-III

2011年11月19日(土)～2012年2月26日(日)

【次回開催】

● 特別展

シャルロット・ペリアンと日本

2012年1月21日(土)～3月11日(日)

広島市現代美術館(学芸担当: 松岡 広報担当: 後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(問い合わせ用・学芸直通)

FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

